

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ノルデンタワー江坂	階数	地上20F
建設地	吹田市広芝町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	121 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年7月10日
敷地面積	976 m <sup>2</sup>	作成者	鹿島建設株式会社
建築面積	563 m <sup>2</sup>	確認日	2019年7月10日
延床面積	7,785 m <sup>2</sup>	確認者	鹿島建設株式会社



ご覧ください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84% (154 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 84% (154 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 84% (154 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 省エネルギー設計として環境に配慮したマンション計画。	その他 特になし	
Q1 室内環境 断熱性能等級4相当とすることで熱負荷の軽減を図っている。 十分な開口を設け室内が快適に過ごせるような計画。	Q2 サービス性能 主要配管に耐用年数が高いものを計画、長寿命化を図る。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部に緑地を設けることで周辺のまちなみにや景観に配慮した計画。
LR1 エネルギー LED照明を計画、省エネルギー性能に配慮した計画。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ・節水型便器を計画、環境に配慮した計画。	LR3 敷地外環境 CO <sub>2</sub> 排出の抑制に努めた計画。 適切な駐輪場・駐車場を確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0072

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)ノルデンタワー江坂						
	建設地	吹田市広芝町						
	用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						対象外	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							